

ふくおかの経済

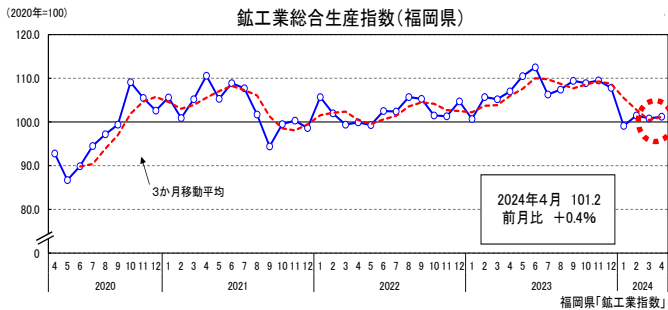
令和6年6月号



生産

このところ弱含んでいる。

4月の生産指数は、化学・石炭製品工業、食料品工業などが上昇したため、2か月ぶりに前月を上回りました。

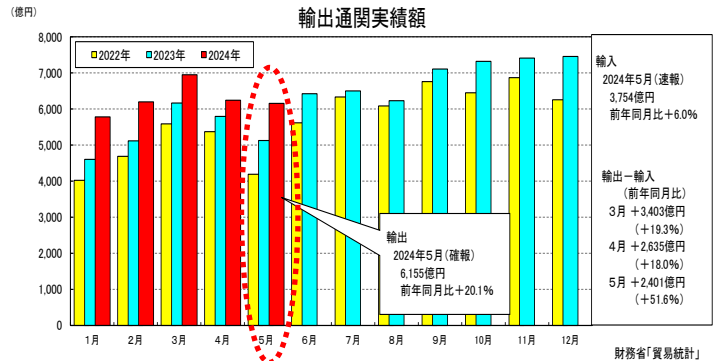


鉱工業生産指数は、2020年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

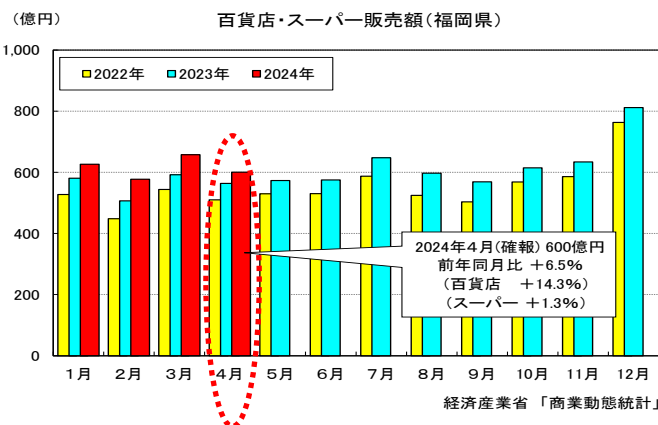
5月の輸出額は、前年同月比+20.1%、輸入額は同+6.0%といずれも前年同月を上回りました。



消費

緩やかに回復している。

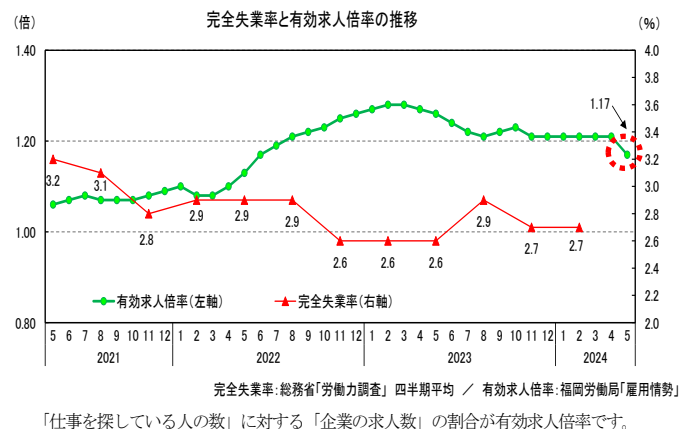
4月の百貨店・スーパー販売額は、31か月連続で前年同月を上回りました。



雇用

雇用情勢は、改善している。

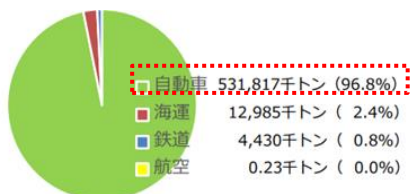
5月の有効求人倍率は1.17倍で、前月を下回った(▲0.04ポイント)ものの、1.00倍を上回っています。



今月のトピック 農産物輸送を確保せよ～2024年問題への対応～

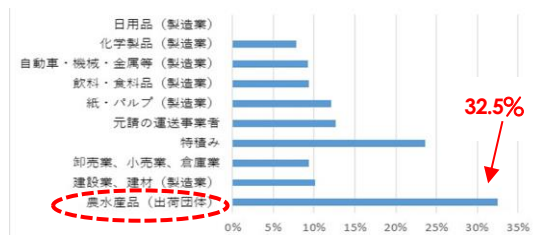
- 2024年4月からトラック運転手の時間外労働の上限規制が始まりました。運転手の労働時間が短くなることで、輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されています(いわゆる「2024年問題」)。
- 2024年問題の影響が顕著と考えられるのが、トラック輸送が大半を占める農産物です(図表1)。運転手の年間の拘束時間を改正後の改善基準告示の基準である3,300時間とすると、農水産品では32.5%の輸送能力が不足すると試算されます(図表2)。本県に輸送される農産物のうち九州外からの輸送は約2割を占めることから、2024年問題は、我々の食卓にも大きな影響を及ぼす可能性があります(図表3)。
- 今後、2024年問題により輸送能力の不足が深刻化し、様々な影響が生じることも予想されます。県民誰もが新鮮な食物を適時に確保できるよう、安定的な物流の確保が必要です。

図表1 食品流通のモード別輸送形態



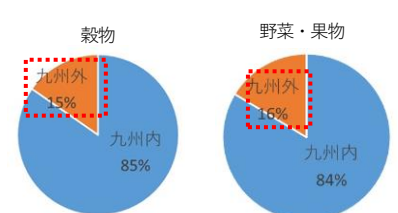
出所:農林水産省「食品分野の物流効率化について」
(2023.10.13)

図表2 不足する輸送能力(業界別)



出所:経済産業省「第3回持続可能な物流の実現に向けた検討会」
(2022.11.11)資料・株式会社INX総合研究所「物流の2024年問題」の影響について(2)より作成

図表3 福岡県への輸送量(2022年度)



出所:国土交通省「貨物世帯流動調査」より作成